

ガ－ナ国港湾開発計画調査
(S / W協議)
事前調査報告書

平成 12 年 7 月

国際協力事業団

序 文

日本政府はガーナ政府の要請に基づき、同国の港湾開発計画にかかる調査を実施することを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施することと致しました。

当事業団では本格調査に先立ち、本件調査を円滑かつ効果的に進めるため、平成12年7月10日から同年7月29日までの20日間(うち、官団員7月10日～7月24日)にわたり、運輸省第四港湾建設局博多港湾空港工事事務所長古市正彦氏を団長とする事前調査団(S/W協議)を現地に派遣しました。

調査団は本件の背景を確認するとともにガーナ政府の意向を聴取し、かつ現地踏査の結果を踏まえ、本格調査に関するS/Wに署名しました。

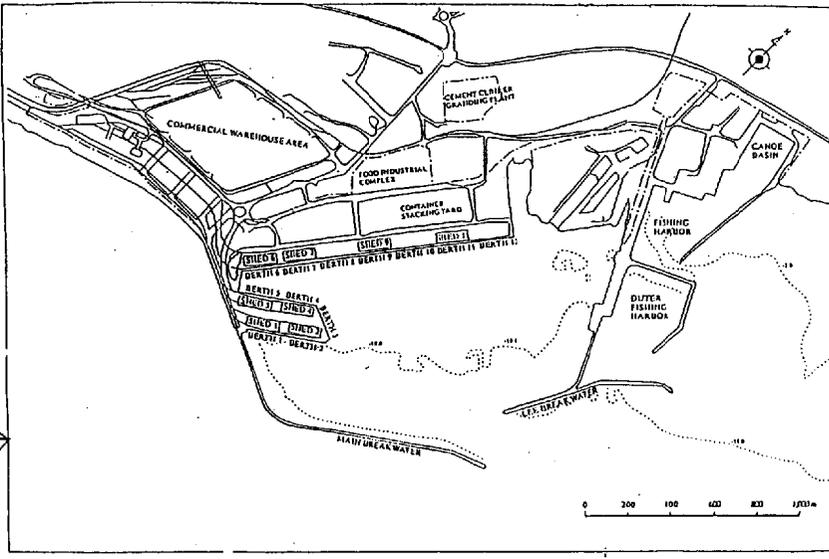
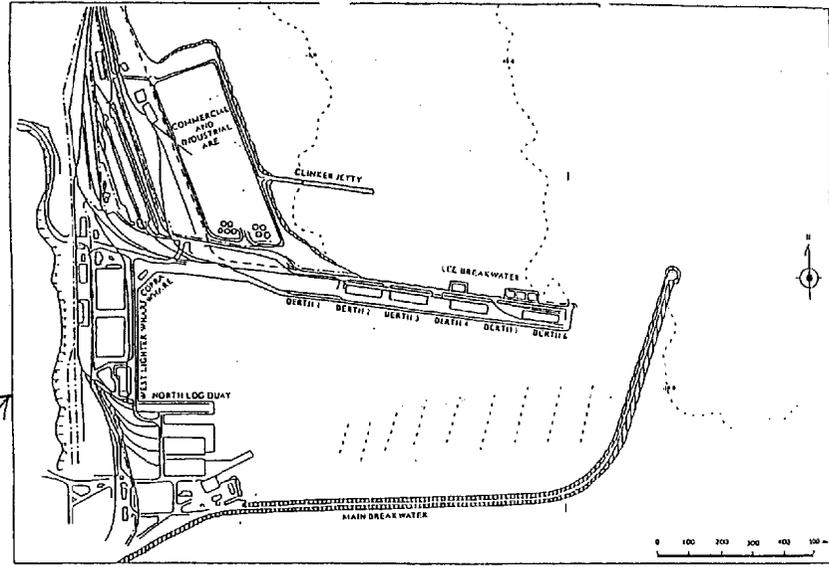
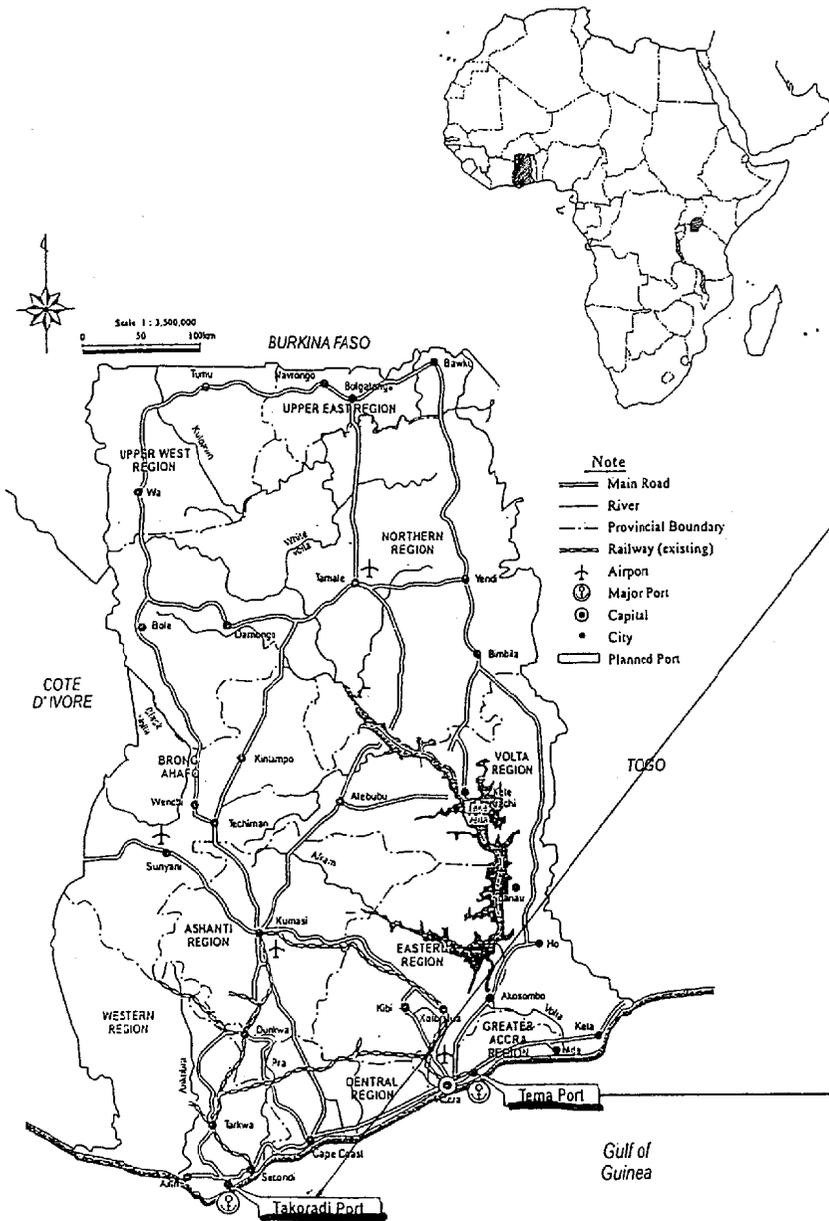
本報告書は、今回の調査を取りまとめるとともに、引き続き実施を予定している本格調査に資するためのものです。

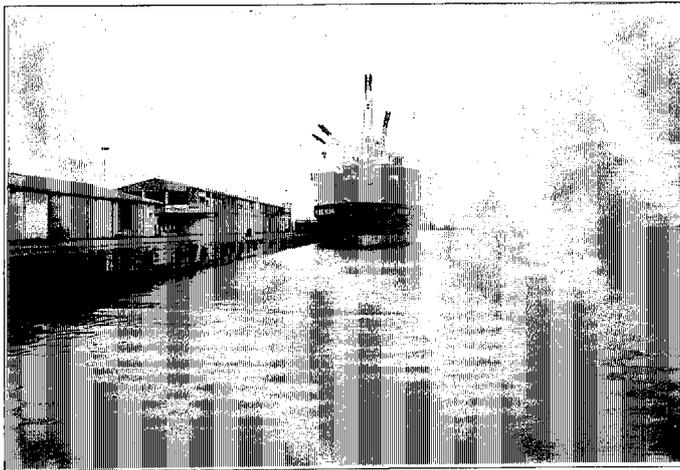
終わりに、調査にご協力とご支援を頂いた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成12年7月

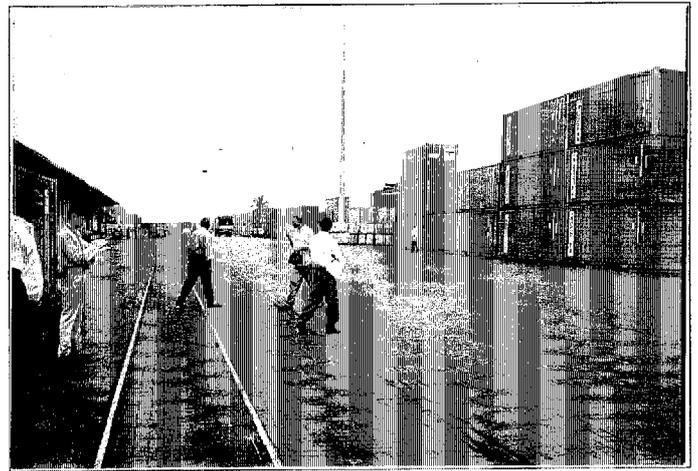
国際協力事業団

理事 泉 堅二郎

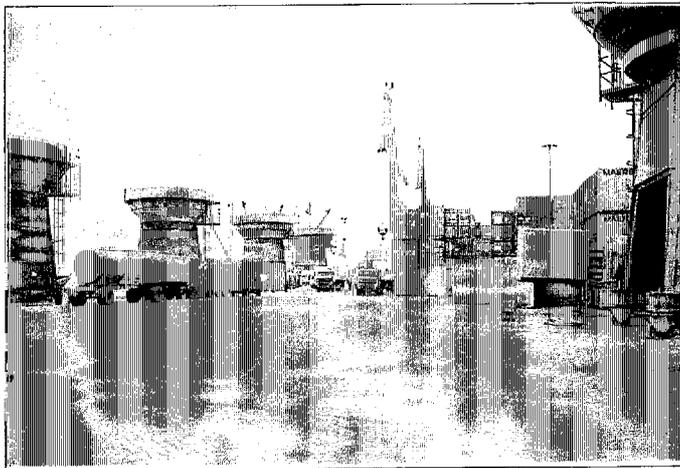




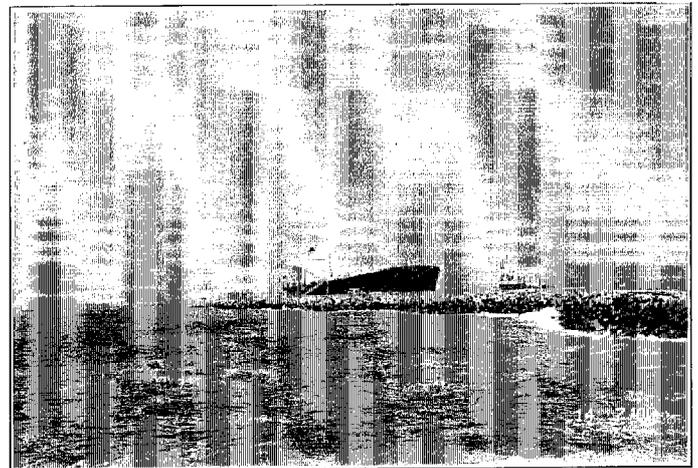
第2埠頭(テマ港)



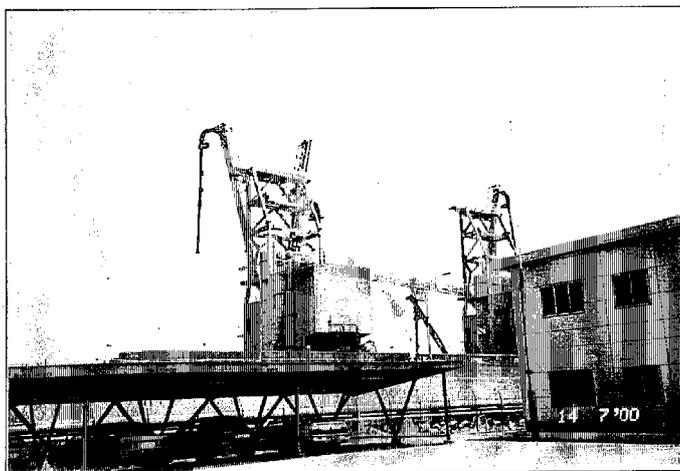
第2埠頭コンテナ置き場(テマ港)



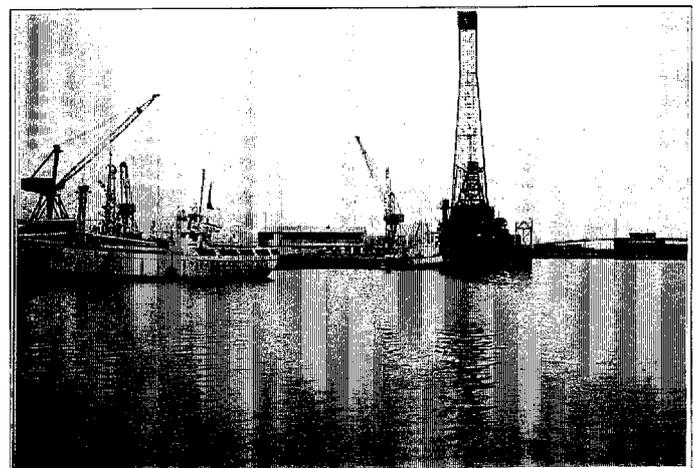
クリンカー・バース(テマ港)



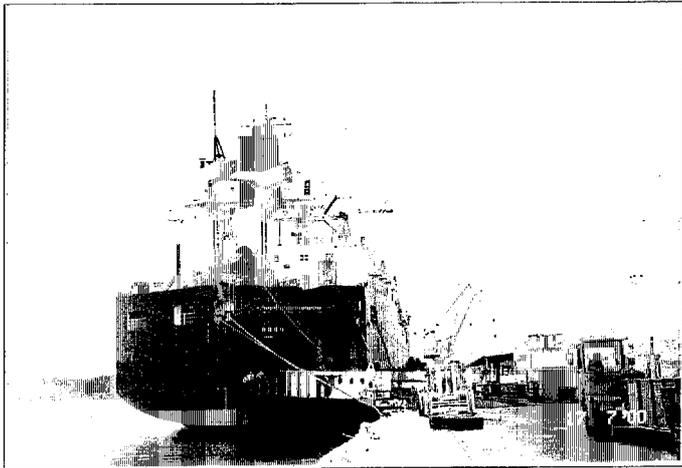
オイル・バース(テマ港)



バルク・バース(テマ港)



ドック(テマ港)



コンテナ・バース(タコラディ港)



木材バース(タコラディ港)



ライター・バース(タコラディ港)



ガーナ港湾庁で会議



S/W&M/M調印式(大蔵省)



S/W&M/M調印式(道路・運輸省)

目 次

序 文
地 図
写 真

第 1 章 事前調査の概要	1
1 - 1 要請の背景	1
1 - 2 事前調査の目的	1
1 - 3 調査団の構成	1
1 - 4 調査日程	2
1 - 5 カウンターパート機関	2
1 - 6 協議概要	3
第 2 章 西アフリカの港湾事情	4
2 - 1 ガーナの概要	4
2 - 2 ガーナの港湾行政組織・管理運営組織	5
第 3 章 テマ港及びタコラディ港の現状	13
3 - 1 テマ港の港湾施設の状況	13
3 - 2 タコラディ港の港湾施設の状況	18
3 - 3 テマ港及びタコラディ港における港湾活動状況	23
3 - 4 西アフリカ地域の港湾と海運ネットワーク	24
3 - 5 テマ港及びタコラディ港の既往開発計画	24
第 4 章 自然条件と環境(寺島団員)	32
4 - 1 自然条件	32
4 - 2 環境予備調査	38
第 5 章 本格調査への提言	46
5 - 1 調査の基本方針(調査実施上の留意点)	46
5 - 2 調査対象範囲	48
5 - 3 調査フロー	49
5 - 4 調査項目とその内容・範囲	49
5 - 5 本格調査団の団員構成	60

付属資料

・ S / W、 M / M、 T / R	65
・ 主要面談者リスト、 Q / N	77
・ 収集資料リスト、 ローカルコンサルタントリスト	83
・ 協議記録	89